
利用ガイドブック



令和8年度版

(令和8年4月1日 現在)

浜松市立青少年の家

目 次

1	浜松市立青少年の家について	1
	(1) 浜松市立青少年の家は	
	(2) 運営目標	
2	浜松市立青少年の家主催事業の7本柱	
3	利用について	2
	(1) 利用できる方	
	(2) 利用できる日（開館日）	
	(3) 利用可能人数	
	(4) 利用できない団体	
	(5) 予約変更・キャンセルについて	
	(6) 感染症について	
	(7) 利用料金	
	(8) 利用申込みから利用日までの流れ	
	<<日帰り利用>>	
	<<宿泊利用>>	
	(9) 利用当日の流れ	
	<<日帰り利用>>	
	<<宿泊利用>>	
	(10) かまど（野外炊飯）利用者	
4	基本的な生活時間	7
5	施設利用上のお願い	8
	【共通】 【食堂】 【厨房】	
	【野外炊飯場（かまど・ピロティアー）】 【テントサイト】	
	【入浴】 【寝具】	
	【森】 【食事（弁当）・食材の注文】	
	【駐車】 【その他】	
6	活動提供プログラム	12
	(1) 炊飯活動	
	(2) クラフト	
	(3) フィールドワーク	
7	浜松市立青少年の家 地震等防災対策	15
	(1) 青少年の家における避難誘導について	
	(2) プログラム事業主催者等の責務について	
	(3) 火気使用時の遵守事項について	
	(4) 地震の心得について	
	別表 避難誘導経路	17
	『地震の心得』	18
8	施設の概要	19
	(1) 施設詳細	
	(2) 施設配置図	
	(3) 交通アクセス	



1 浜松市立青少年の家について

(1) 浜松市立青少年の家は

創造的な体験や交流活動の場を提供し、もって次代の社会を担う青少年の健全な育成を図るため、自然体験活動、社会体験活動、スポーツ活動、文化活動等を通じた青少年の健全な育成を図るための事業・青少年及び青少年の養成事業・青少年の自発的な活動の啓発、相談及び支援を行う都市型宿泊研修施設です。

(2) 運営目標

浜松の将来を担う子どもたちを地域と市民と共に育む拠点施設

こども館とのネットワークで「共創」「共感」「共働」「共育」を循環し、地域が一体となって浜松の将来を支える有為な人材を育む。

- ・ 浜松への愛郷心を持つ子どもを育む子育て支援、次世代育成事業を浜松市と共にブランド化するとともに、情報や取組みを広く発信し、将来的にUJターンを呼び込み、浜松市の活性化に貢献する。

2 浜松市立青少年の家主催事業の7本柱

- ① 自然体験活動を通じた育成事業
 - ・ 身近な自然を活用した実際体験による育成
- ② 社会体験活動を通じた育成事業
 - ・ ボランティア団体・企業等と連携した社会体験による育成
- ③ 文化・創造体験活動を通じた育成事業
- ④ リーダー養成講座
 - ・ 青少年時におけるリーダー資質の養成
- ⑤ 指導者養成事業
 - ・ 次世代の健全育成活動を行っている指導者を対象とした養成
- ⑥ 手と心をつなぐ支援事業
 - ・ 障がい児者等を対象にした支援事業
- ⑦ 文化祭
 - ・ 青少年の家まつり等、施設開放型事業

3 利用について

(1) 利用できる方

- 研修を利用目的（宿泊または日帰り）とした、原則5人以上の団体が対象です。
 - ※ 小・中・高校生の団体の場合、必ず指導者が引率してください。
 - ※ 小・中・高校生が宿泊する団体には、必ず2名以上の成人指導者が宿泊してください。
 - ※ 個人やご家族ではご利用いただけません。

(2) 利用できる日（開館日）

- 次の休館日以外は利用できます。
 1. 原則として毎週月曜日
 - ※ 3月15日から4月5日まで及び7月20日から8月31日までの月曜日を除く
 - ※ 月曜日が国民の祝日にあたる場合は翌日の火曜日
 2. 年末年始（12月29日から翌年の1月3日まで）

(3) 利用可能人数

- 宿泊定員は、本館が70名、テントサイトは最大60名です。
 - ※ 男女の比率によっては、上記人数の宿泊ができない場合があります。
- 各研修室等は、場所によって人数が異なりますので、お問合せください。

(4) 利用できない団体

- 特定の政党を支持、または反対するための政治的教育、政治的活動を行う団体。
- 特定の宗教を支持、または反対するための宗教的教育、宗教的活動を行う団体。
- 営利を目的とする活動を行う団体。
- その他、不適切と認められる活動を行う団体。

(5) 予約変更・キャンセルについて

- 宿泊人数、利用時間の変更及びキャンセルは利用日の10日前までをお願いします。
 - ※ 10日前が休館日の場合は、その前日となります。
- 期日を過ぎてのキャンセルは、利用料金全額をご負担いただきます。
- 施設利用場所や利用人数の変更は、随時お電話にてご連絡ください。

(6) 感染症対策について

- マスク着用は各自でご判断ください。
 - ※ 密な状況や予想される場合は、マスクの着用をお勧めします。
 - ※ 感染拡大等、状況によってはマスクの着用をお願いする場合がありますので、ご協力ください。
- 手指消毒、適度な換気等、基本的な感染症対策にご協力ください。
- 発熱等、体調がすぐれない場合はご利用をお控えください。

(7) 利用料金

※下記料金にはすべて消費税が含まれます。
 ※消費税率の改定があった場合は変更となります。
 ※令和8年4月1日時点の料金です。

○ホール、研修室料金

場 所	利用区分	午前9時から 午後6時まで 1時間につき	午後6時から 午後9時まで 1時間につき	午後9時から 午後9時30分まで
ホール	次世代育成団体	310 円	590 円	290 円
	その他一般団体	940 円	1,790 円	890 円
第1研修室	次世代育成団体	100 円	150 円	70 円
	その他一般団体	200 円	310 円	150 円
第2研修室	次世代育成団体	80 円	110 円	50 円
	その他一般団体	160 円	230 円	110 円
第3研修室	次世代育成団体	140 円	160 円	80 円
	その他一般団体	290 円	330 円	160 円
小会議室	次世代育成団体	80 円	110 円	50 円
	その他一般団体	160 円	230 円	110 円
和室（注1）	次世代育成団体	80 円	110 円	50 円
	その他一般団体	160 円	230 円	110 円
食堂（注2）	次世代育成団体	100 円	150 円	70 円
	その他一般団体	200 円	310 円	150 円

（注1）宿泊以外に利用する場合の料金です。

（注2）11:00~13:00、17:00~19:00は共有時間になります。

※予定の時間を超過されての利用は、超過料金の規定があります。

○宿泊料金

場 所	利用区分	金 額 1人1泊につき
和室・講師室	次世代育成団体	410 円
	その他一般団体	830 円
テントサイト	次世代育成団体	200 円
	その他一般団体	410 円

※宿泊室のご利用は、午後2時から翌日午前9時までが利用時間となります。

リネン代（1人につき）	280 円
-------------	-------

※寝具・リネンを汚損させてしまった場合、原状復帰にかかる費用の実費負担となります。

※3泊以上の宿泊は、原則としてシーツの交換をお願いします。

○設備利用料金

場所・用具	利用区分	金 額	摘要	備考
炊飯用かまど	次世代育成団体	100 円	1 炉 1 日につき (8人掛け用のテーブルを含む)	
	その他一般団体	200 円		
石 窯	共 通	820 円	1 炉 1 日につき	かまど1炉以上の 申込みが必要
野外炊飯セット	次世代育成団体	100 円	1 セット 1 日につき (1セット10人分)	
	その他一般団体	200 円		
貸出用テント	次世代育成団体	100 円	1 張 1 泊につき (1張り4~6人用)	
	その他一般団体	200 円		
屋内食器・調理器具	共 通	100 円 ~	1 セット 1 日につき	事前の書類提出が 必要
Wi-Fiルーター	共 通	100 円	1回につき	1台のみ (先着順)

○その他

薪 (野外炊飯用)	ばた木	760 円	かまど・石窯で使用
	堅 木	870 円	

(8) 利用申込みから利用日までの流れ

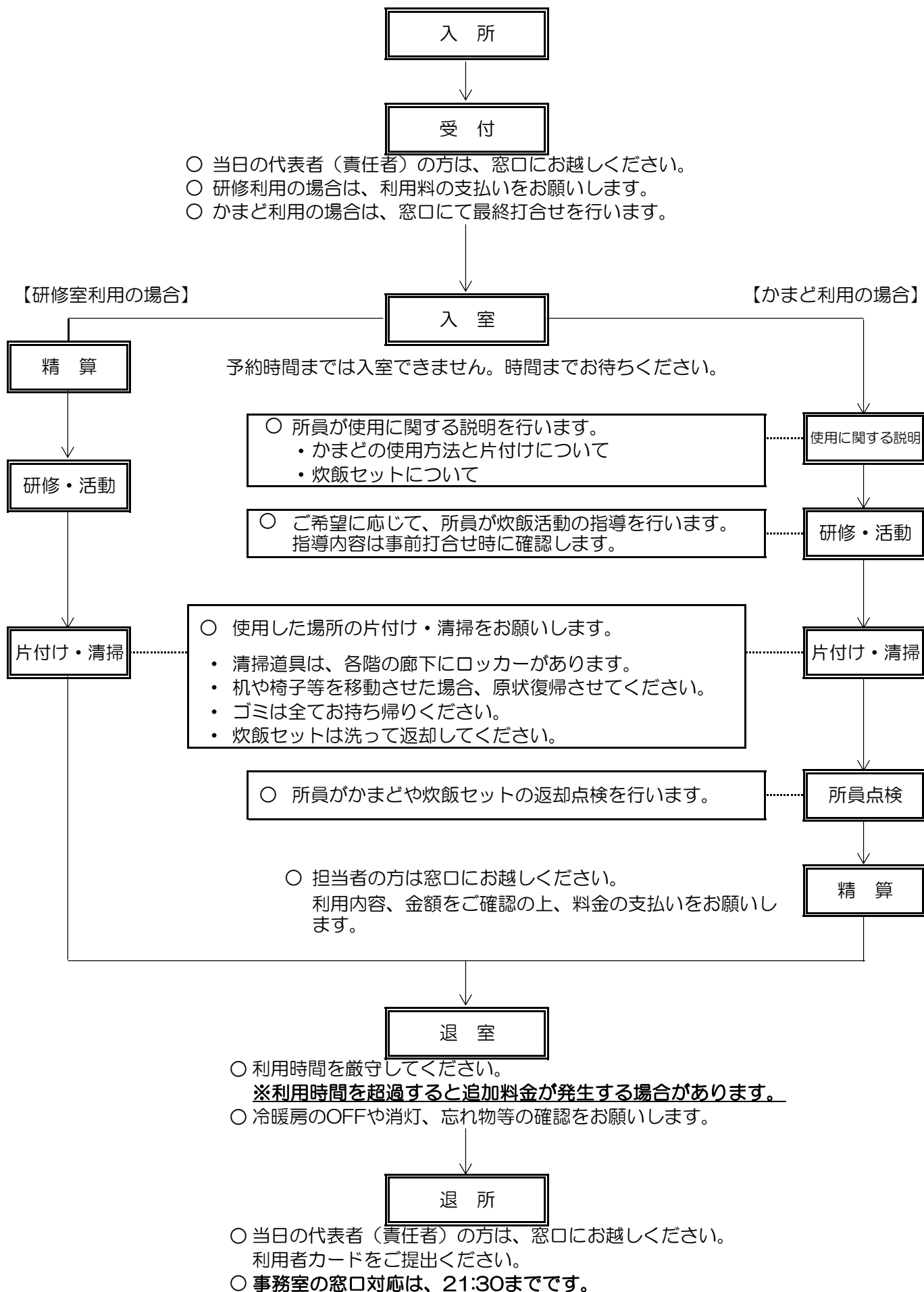
	次世代育成団体（注1）		その他一般団体		
	日帰り利用	宿泊利用	日帰り利用	宿泊利用	
利用予約	予約開始日	利用希望月の3ヶ月前の1日から	利用希望月の6ヶ月前の1日から	利用希望月の2ヶ月前の1日から	利用希望月の5ヶ月前の1日から
	予約方法	『まつぼっくり』（注2）、電話、窓口にて予約	電話または窓口にて予約	『まつぼっくり』（注2）、電話、窓口にて予約	電話または窓口にて予約
		※宿泊、かまど、和室、食堂は『まつぼっくり』での予約不可			
確認内容	※電話、窓口での予約時				
	<ul style="list-style-type: none"> ・団体名 ・利用日 ・利用場所 ・利用目的 ・利用人数 ・利用時間 ・代表者名 ・住所 ・連絡先 ・まつぼっくり（利用者）番号 他 				
事前打合せ	利用日の1ヶ月前までに ※宿泊、かまど利用時のみ				
	打合せ日	※打合せ希望日時を事前に青少年の家へご連絡ください。都合により、ご希望に添えない場合があります。			
	打合せ内容	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容、利用する研修室等の確認 ・使用備品の確認 ・提出書類の確認 ・下見（必要に応じて） 			
必要書類	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用申請書 ・かまど利用票 ・屋内調理器具等貸出票（必要に応じて） ・食材発注票（必要に応じて） <p>※必要事項を記入の上、打合せ時にご提出ください。</p>				
書類提出	<p>宿泊、かまど利用以外において、下記の場合は利用日の1週間前までに書類提出（ ）内が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お弁当注文希望（お弁当注文表AまたはB） ※ A：1種類につき10食以上の注文必須 / B：1種類につき5食以上かつ5,000円以上の注文必須 ・厨房利用希望（厨房利用票） ※事前に打合せが必要 ・屋内調理器具等利用希望（屋内用調理器具等貸出票） 				
変更連絡	<p>キャンセルは利用日の10日前が期日です。10日前が休館日の場合は休館日の前日までです。期日を過ぎてのキャンセルは、利用料金全額をご負担いただきます。</p> <p>お弁当の数量などの変更は配達（納品）日の3日前の正午までとなります。期日を過ぎての変更はお受けできませんので、ご了承ください。</p> <p>施設利用場所や利用人数などの変更は、随時お電話にてご連絡ください。</p>				
利用日当日	利用時は当日の代表者（責任者）の方は窓口にお越しください。				

注1) 次世代育成団体とは、会員5人以上で次世代育成のために活動を行う、浜松市の承認を受けた団体を指します。

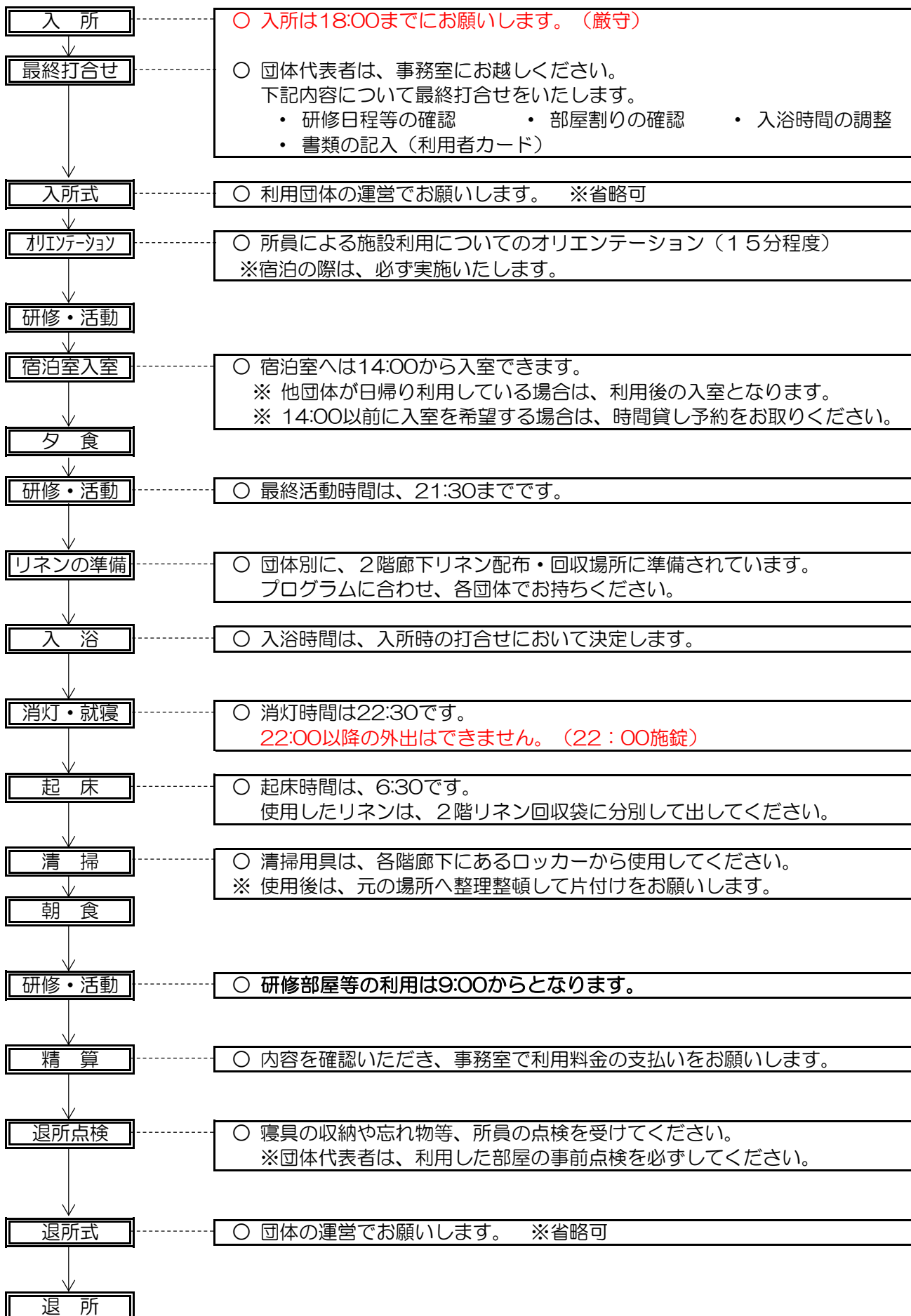
注2) 予約システム『まつぼっくり』とは、浜松市スポーツ文化施設予約システムを指します。利用者登録（無料）することで、パソコンやスマートフォン、携帯端末などから施設の予約や空き状況が確認できるシステムです。

(9) 利用当日の流れ

《日帰り利用》



《宿泊利用》



4 基本的な生活時間（宿泊時）

時間	内容	備考
6:30	起床	以下の時間設定する場合は事前にご相談ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・6:30以前（6:00まで）の起床時間設定 ・早朝の研修や活動を行う場合
7:00	朝食・清掃	朝食後、宿泊室の清掃をお願いします。 退所時間までに必ず実施し退所点検を受けてください。
9:00	研修・活動	自主プログラム等の実施
	（昼食）	食堂開放時間 11:00～13:00
13:00	研修・活動	自主プログラムの実施
	（夕食）	食堂開放時間 14:00～21:30 ※日帰りにて時間貸し利用がある場合は利用不可
19:00	研修・活動	自主プログラムの実施 最終研修・活動時間は、21:30まで
	入浴 ・ 就寝準備	入浴時間は、団体で設定可能です。 ※指導者も含め22:30までに終了願います。 ただし、以下の場合については変更・調整となります。 <ul style="list-style-type: none"> ・複数の団体が重なった場合、団体の人数が多い場合
21:30	研修・活動 終了	就寝準備（リネン配布 など） <ul style="list-style-type: none"> ・2階廊下のリネン置場よりシーツを準備
22:30	消灯	<u>正面玄関の施錠は、22:00です。</u> <u>原則、22:00以降の館内への出入りはできません。</u> なお、利用者駐車場も21:45までに施錠します。

5 施設利用上のお願い

【共通】

- 利用時間（清掃・退室等も含め）は厳守してください。
- 節電・節水、整理整頓・原状復帰など、ルールとマナーを厳守してください。
- 生活のすべては、セルフサービスとなります。
- 設備・備品・物品等の使用後は、原状復帰（消灯・窓の施錠を含む）をお願いします。
- **飲食は、すべて1階食堂でお願いします。**
- 冷暖房の温度調整は、集中管理となっています。使用時は事務室へ連絡ください。
- ゴミはすべて持ち帰りとなります。
- 敷地内は全面禁煙です。
- アルコール類の持込・飲酒は固くお断りします。また、外食先で飲酒をされての利用も固くお断りいたします。
- 地震等の防災対策については、7章（P16～17）に記載してあります。
- 物品等を破損・紛失した場合には必ず事務室へ連絡してください。なお、故意または
- 過失により施設・設備を破損・亡失したときは、弁償していただく場合があります。
- 危険物（刃物、針など）の使用をされる団体は申告ください。
- 利用時間内にて、館外へ外出される場合は、施錠して鍵を事務室へお預けください。

【食堂】

- 食堂は、利用者が飲食スペースとして利用できる場所です。
 - ・ 以下の時間は、共有時間帯となり占有できません。（利用予約もできません）
「6:00～9:00」「11:00～13:00」「17:00～19:00」
 - ・ 共有時間帯の食堂利用は、利用者間で譲り合ってください。
 - ・ 共有時間以外は、予約可能ですが、他団体が厨房を使用している場合があります。
- 使用した場所の清掃をお願いします。
 - ・ テーブルを拭く際は、食堂備え付けの台布巾をお使いください。
布巾は、テーブル以外へは使用しないでください。
 - ・ テーブルや椅子の移動後は、原状復帰をお願いします。
 - ・ 床は、掃き掃除かモップかけをしてください。

【厨房】

- 使用する際は注意事項等をお伝えしますので、事前に事務室にご連絡ください。
- 宿泊利用時、かまど利用時以外での厨房利用の場合は、事前に「厨房利用票」を提出が必要で、提出時に内容を確認します。
- 厨房は、終日共有の場所となります。
原則、占有することはできません。他団体が居る場合は、譲り合って使用してください。
- 食品の取り扱いには十分注意してください。
持ち込んだ食材は、必要に応じて冷蔵庫に入れ、扉に団体名を記入してください。
冷蔵庫を使用した際は、退所時に忘れ物が無いか確認を必ずお願いします。
- 厨房内では、必ず備え付けの厨房用スリッパを使用してください。
館内用のスリッパや下足での入室はしないでください。
厨房用のスリッパで屋外に出ないでください。
- **コンロを使用する際は、酸欠防止の為に必ず換気扇をつけてご利用ください。**
※コンロ付近に可燃物等を置かないでください。
- 厨房内の食器や調理器具は、野外への持ち出しをしないでください。
- 片付けに必要な洗剤、スポンジ、布巾類などは、団体で準備をお願いします。
- 使用した食器や道具類は、綺麗に洗って乾燥後、団体食器カゴに返却ください。
- 使用したコンロ周辺や流し台、床等の清掃をお願いします。
- ゴミ（生ゴミやお茶パック、残飯、容器等）は、すべて持ち帰りください。
※夏季に長期間宿泊される場合は、ご相談ください。
- 終了後、流し台のゴミ受けはきれいに洗って外しておいてください。

【野外炊飯場（かまど・ピロティ）】

- 炊飯に使用する食器類は、滅菌処理をしています。
炊飯用具（コッフェル・飯ごうなど）は、使用前に必ず洗ってから使用してください。
- 使用後は、洗剤やクレンザーできれいに洗い、布巾で拭いて乾燥させてください。
返却時に所員によるチェックを行います。汚れ等がある場合、再度やり直しとなります。
- ゴミ（生ゴミ、紙、プラスチック、燃え残った炭など）すべて持ち帰りとなります。
燃え残った炭は、うちわで扇いで燃やしきるか、水で完全消火し持ち帰りください。
炭を消火する際、絶対にかまどに直接水をかけないでください。
終了後、流し台のゴミ受けはきれいに洗って外しておいてください。
水道場のゴミ受けに残る生ゴミ等もきれいに取り除いてください。
- かまどでの活動は、火傷や刃物類による事故に十分気をつけてください。
かまどでは必ず軍手（滑り止めの無い物）を使用し、安全に活動してください。
- 片付けに必要な洗剤、スポンジ、布巾類などは、団体で準備をお願いします。

【テントサイト】

- テントサイトでの飲食はできません。
野外での飲食は、ピロティやかまど周辺のみです。
- テントサイトは火気使用厳禁です。
照明器具（カンテラなど）については、十分注意の上で使用してください。
- 退所前にテントサイト周辺のゴミ拾いや整地等、必ずお願いします。
ゴミは持ち帰りください。
ロープなどの目印も忘れずに外してください。
- ルールやマナーを守ってご利用ください。
民家や道路に隣接していますので、地域の方々に迷惑の掛からないようにお願いします。
- テントの使用前と使用後の備品数の確認を確実に行ってください。
- 危険防止の為、テント撤去後のペグやピンの抜き忘れに注意してください。
- 貸しテントを利用され場合、「テント点検票」に確認事項を記入して返却点検時に提出してください。返却の際、備品数等を確認します。
- 22時00分以降、館内へ入ることはできません。
トイレの利用は、かまど横の屋外トイレをご利用ください。

【入 浴】

- 入浴時間は、プログラム時間内で設定してください。
ただし、複数の団体が居る場合や人数によっては希望に添えない場合があります。
- 終了時間は、22時30分です。
- 団体指導者の指示に従い、入浴時のルールを守ってください。
- 使用した椅子や桶等の整理整頓をお願いします。
- 入浴が終了したら団体指導者は、事務室へ報告をお願いします。
- タオル、シャンプー、ボディークリーム等は備え付けてありません。
団体、個人にて準備をお願いします。
- 以下の条件にいずれか該当する場合、浴室は1ヶ所でのご利用となります。
入浴の順番等は団体にて調整をお願いいたします。
 - ① 当日の宿泊人数が20名以下の場合
 - ② 同日宿泊団体が2団体の場合

【寝 具】

- リネン1人分のセットは、枕カバー、敷布団カバー、掛布団カバーの各1枚です。
※3泊以上の宿泊の場合、衛生面を考え原則、交換をお願いします。
- リネン受け取りは、2階リネン配布回収場所になります。
団体ごとに準備いたしますので、間違えないようにお願いします。
- 使用後のリネンは、配布場所横の回収袋に種類別に分別して返却ください。
- 寝具やリネンに劣化・汚損がありましたら、事前に事務室へご連絡ください。
- 寝具やリネンを汚損してしまった場合は、必ず事務室にご連絡ください。
※破損・汚損された場合、現状復帰にかかる費用の実費負担となります。
- 寝具の片付け方は、押入れに貼ってある写真を参考にお願いします。
退所点検時に所員が確認いたします。不備がある場合、やり直しとなります。

第3研修室



和室



【 森 】 ※大雨警報発令時は森へは立入禁止となります。

- 急な斜面や崖などもありますので確認の上、十分に注意して活動してください。
- 森の中では絶対に走らないでください（特に階段や下り坂）。
- 1人では行動しないでください。
- 森から出た敷地外やフェンスの外には出ないでください。
竹林の中には入らないでください。
- 木の枝や葉っぱなど、周囲に注意して歩いてください。
切り株や木の根っこなど、足元にも注意して歩いてください。
- 濡れている場所や苔の生えている場所は滑りやすいので注意してください。
- 石垣クライムは、指導者立会いの下、楽しく遊んでください。
- ハチやムカデやヘビなどの生き物がいます。道の無い所は歩かないでください。
- ロープが張ってある場所から奥へは、絶対に入らないでください。
※蜂の巣など、危険を感じる場所があった場合、事務室に連絡をお願いします。

【食事（弁当）】

青少年の家では、レストランのような食事提供はありません。

研修や活動で食事の準備が出来ない場合など、お弁当の注文を受付けています。

○ 弁当注文

ご利用される場合は、別紙メニュー表からお選びいただき、専用の注文表からご注文ください。
アレルギーがある方やメニュー以外の商品、予算等にご相談ください。

【駐車】

○ 利用者専用駐車場は、青少年の家西側駐車場をご利用ください。

ただし、駐車台数に限りがあります。（通常40台程度）

台数が多い団体は、乗り合いや公共交通機関をご利用いただき、少ない台数でご利用していただくようお願いいたします。

○ 駐車の際は、すべて前向き駐車をお願いします。

○ 大型バスの宿泊を伴う駐車はできません。

送迎についてはご相談ください。

○ 利用者専用駐車場は、21時45分までに施錠いたします。

※近隣住民の方へのご迷惑になりますので、利用後速やかな出庫にご協力ください。

○ 駐車場内での事故、盗難等のトラブルにおける責任は負いかねますので、ご了承ください。

【その他】

○ 財布等の貴重品は、団体または個人で管理してください。

○ 傷口用の消毒液等も含め、外用薬、内服薬等は提供いたしません。

団体または個人でご用意ください。

○ 野外活動等を行う場合は、団体で傷害保険へ加入されることをお勧めします。

○ 機材の運搬等で敷地内に進入する必要がある場合は、事務室に申し出ください。

○ 施設ご利用時に必要なシャンプー・ソープ・洗剤等は、団体または個人にてご用意ください。

※販売はしておりません。

○ 宿泊時は防犯上の観点により、22時00分から翌6時00分間は出入口を全て施錠いたしますので、施設への出入りがいただけません。

6 活動提供プログラム

(1) 炊飯活動

令和8年4月1日現在

活動名	可能人数	時間	準備物		備考
			青少年の家	利用団体	
野外炊飯	80人程度	3時間	<ul style="list-style-type: none"> まき（有料） 用具一式 炊飯セット（有料） 	<ul style="list-style-type: none"> 軍手 食材 	【調理可能メニュー】 <ul style="list-style-type: none"> ごはん カレー、シチュー 豚汁 など
石窯料理	30人程度	3～4時間	<ul style="list-style-type: none"> 用具一式 まき（有料） 石窯（820円） 	<ul style="list-style-type: none"> 食材 軍手 アルミ缶 	【調理可能メニュー】 <ul style="list-style-type: none"> 石窯ピザ、パン チキン など
鉄板料理	80人程度	2時間	<ul style="list-style-type: none"> まき（有料） 用具一式 鉄板 	<ul style="list-style-type: none"> 食材 軍手 	【調理可能メニュー】 <ul style="list-style-type: none"> バーベキュー 焼肉、焼きそば
ダッチオーブン料理	80人程度	3時間	<ul style="list-style-type: none"> まき（有料） 用具一式 ダッチオーブン（有料） 耐熱手袋 	<ul style="list-style-type: none"> 食材 軍手 	【調理可能メニュー】 <ul style="list-style-type: none"> パエリア、ピザ、豚汁 ポークビーンズ、ポトフ ローストチキン など ダッチオーブン10基
焼き菓子	80人程度	10分～1日	<ul style="list-style-type: none"> まき（有料） 	<ul style="list-style-type: none"> 食材 軍手 	【調理可能メニュー】 <ul style="list-style-type: none"> 焼きマシュマロ 焼きりんご
牛乳パック ホットドック	80人程度	1時間		<ul style="list-style-type: none"> 食材 軍手 牛乳パック 新聞紙 アルミ缶 	
焼き芋	80人程度	2時間	<ul style="list-style-type: none"> まき（有料） 	<ul style="list-style-type: none"> 食材 軍手 新聞紙 アルミ缶 落ち葉 	<ul style="list-style-type: none"> 秋～冬季
餅つき	60人程度	3時間	<ul style="list-style-type: none"> 石臼（有料） 杵 蒸し器 	<ul style="list-style-type: none"> 食材 	<ul style="list-style-type: none"> 冬季（12～2月） 前日もち米準備必要 1臼 500円
流し素麺	80人程度	3時間	<ul style="list-style-type: none"> 用具一式（有料） ※竹含む 	<ul style="list-style-type: none"> 食材 	<ul style="list-style-type: none"> 夏季（7～9月） 1式 500円
室内炊飯	30人程度	3～4時間	<ul style="list-style-type: none"> 用具一式（有料） 	<ul style="list-style-type: none"> 食材 	<ul style="list-style-type: none"> 手作りうどん、パン クッキー など

※ その他の炊飯活動についてはご相談ください。

※ 施設利用料はP3をご参照ください。

※ 衛生面の観点より、調理時はエプロン・マスク・三角巾・衛生手袋の着用にご協力ください。

※ 用具一式：火ばさみ・鉄網・うちわ

(2) クラフト

令和8年4月1日現在

活動名	可能人数	時 間	準備物	費用	備考
			青少年の家		
小枝の鉛筆	50人程度	2時間	<ul style="list-style-type: none"> 材料（有料） 用具一式 	150円	<ul style="list-style-type: none"> 事前に団体で小枝拾い 鉛筆芯1本
門松	20人程度	2時間	<ul style="list-style-type: none"> 材料（有料） 用具一式 	1,100円～ (1セット)	<ul style="list-style-type: none"> 冬季限定（12月） 1セット門松2台
森のフォトルーム （大）小枝	30人程度	2時間	<ul style="list-style-type: none"> 材料（有料） 用具一式 	350円	<ul style="list-style-type: none"> 森から材料拾いも可能
森のフォトルーム （小）	30人程度	2時間	<ul style="list-style-type: none"> 材料（有料） 用具一式 	250円	<ul style="list-style-type: none"> 森から材料拾いも可能
竹の箸	50人程度	2時間	<ul style="list-style-type: none"> 材料（有料） 用具一式 	100円	
マイ・スプーン	30人程度	3時間	<ul style="list-style-type: none"> 材料（有料） 用具一式 	300円	<ul style="list-style-type: none"> 人数、行程により所要時間は変わります
葉っぱのしおり	50人程度	1時間	<ul style="list-style-type: none"> 材料（有料） 用具一式 	150円 (3枚)	<ul style="list-style-type: none"> 幼児～小学生低学年向け 下記サイズより選択 診察券サイズ 名刺サイズ

※クラフトの材料及び活動用品代等は実費となります。
 ※その他の活動についてはご相談ください。



(3) フィールドワーク

令和7年4月1日現在

活動名	可能人数	時間	準備物		備考
			青少年の家	利用団体	
テント設営	60人程度	2時間	※有料 ・テント	・軍手	・1張200円 次世代育成団体は100円
森林グループワークゲーム	40人程度	1～3時間	・活動資料	・筆記用具	・指導者のゲーム準備
ウォークラリー	制限なし	1～3時間	・コマ地図	・筆記用具	・全6コース選択可 ・1～3時間コース選択可
キャンドルセレモニー	制限なし	2時間	※有料 ・メインキャンドル ・燭台(有料) ・大ロウソク	・小ロウソク ・アロマオイル	・1セット500円
レクリエーション	制限なし	1時間	・用具一式		・簡単なゲーム ・レクリエーション
昔遊び	制限なし	1時間	・用具一式		・屋内 ・けん玉、めんこ など
火おこし体験	制限なし	1時間	※有料 ・用具一式 ・材料		・火おこし器10セット ※1セット200円

※その他の活動についてはご相談ください。



7 浜松市立青少年の家 地震等防災対策

浜松市立青少年の家では、火災や地震の発生時には活動を中止し、利用者を迅速かつ安全に避難誘導するなどの対応を次の通り定めています。

(1) 青少年の家における避難誘導について

① 緊急避難地・避難地・避難経路の指定

区分	場所
一時避難地	住吉墓苑（隣接地）
緊急避難場所（避難地）	高台中学校（徒歩5分）
住吉広域避難場所	城北工業高校・上下水道部・高台中学校 ※各場所、徒歩5分
避難経路	一時避難地→緊急避難場所（避難地）又は住吉広域避難場所

② 避難誘導経路

別表のとおり（P17に記載）

③ 事案別避難方法等

区分	判断基準例	避難誘導方法	青少年の家の開館等
地震	南海トラフ地震 注意情報発表	帰宅誘導	直ちに閉館
	南海トラフ地震 警戒宣言発令	緊急避難地へ避難 帰宅誘導	直ちに閉館
	地震発生	緊急避難地へ避難 避難地へ避難 帰宅誘導	直ちに閉館
津波	津波 注意報	情報提供	開館継続
	津波 警報	緊急避難地へ避難 帰宅誘導	直ちに閉館
自然災害	風雨等 注意報	注意喚起 野外活動継続検討	開館継続
	風雨等 警報	野外活動中止 帰宅誘導	判断基準により検討
	暴風 警報	帰宅誘導	直ちに閉館
	台風上陸予報	帰宅誘導	直ちに閉館
火災	大規模火災	緊急避難地へ避難 帰宅誘導	直ちに閉館
雷	雷 注意報	原則、野外活動中止 館内誘導	開館継続

④ 特別警報発表時の避難方法等

特別警報が発表された場合は、上記の事案別避難方法に準じ、状況に応じて対応する。

現象の種類	大雨	暴風	高潮	波浪	暴風雪
	大雪	津波	火山噴火	地震（地震動）	

⑤ その他の対応

- 食中毒・ノロウイルス・インフルエンザ等が所内で発生した場合
対象者への対応を最優先に行うとともに、状況の確認を行い直ちに関係諸機関へ連絡を行う。
関係団体及び他団体に連絡し、二次感染防止対策を行う。
- 食中毒・ノロウイルス・インフルエンザ等の注意報が発表された場合
案内看板等で利用団体へ注意喚起を行う。併せて、消毒等を設置する。

(2) プログラム事業主催者等の責務について

参加者があるプログラム事業の主催者等（以下「主催者」という）は、次の事項を遵守し青少年の家が行う防災管理に協力願います。

- ① 主催者は、避難誘導の為に避難誘導要員を配置し、本施設自衛消防隊と相互に協力し、火災発生時には速やかに入館者の避難誘導、被害拡大防止に適切に対応できる体制を整備する。
- ② プログラム事業に先立ち、全員に火災発生時の行動について周知徹底を図る。
- ③ 火災が発生した場合は、施設職員への速やかな通報、初期消火及び入館者のパニック防止に努める。
- ④ 火気の使用及び管理については、消防法等関係法令を遵守するとともに、防火管理者（青少年の家所長）の指示に基づき行う。
- ⑤ 大規模地震対策特別措置法（昭和53年法律第72号）による警戒宣言が発令された場合は、防火管理者（青少年の家所長）又は施設職員の指示に従い、プログラム事業を中止し、地震に対する安全措置を講ずるとともに、入館者の帰宅及び残留業務に協力する。

(3) 火気使用時の遵守事項について

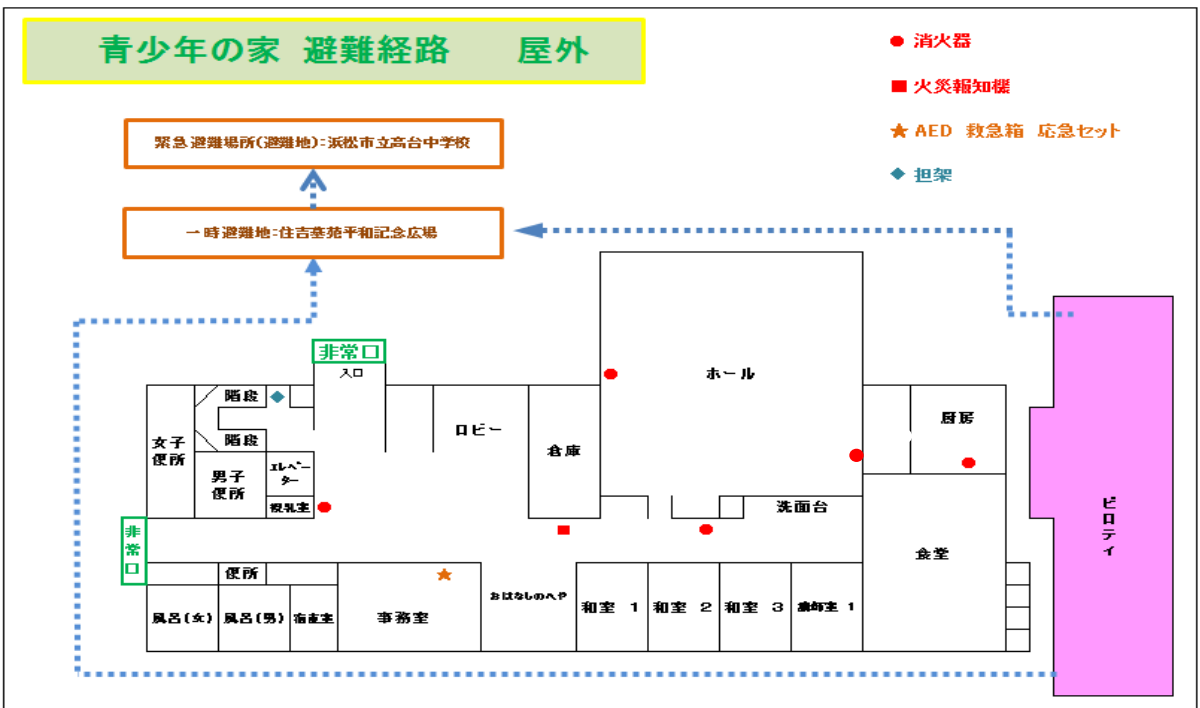
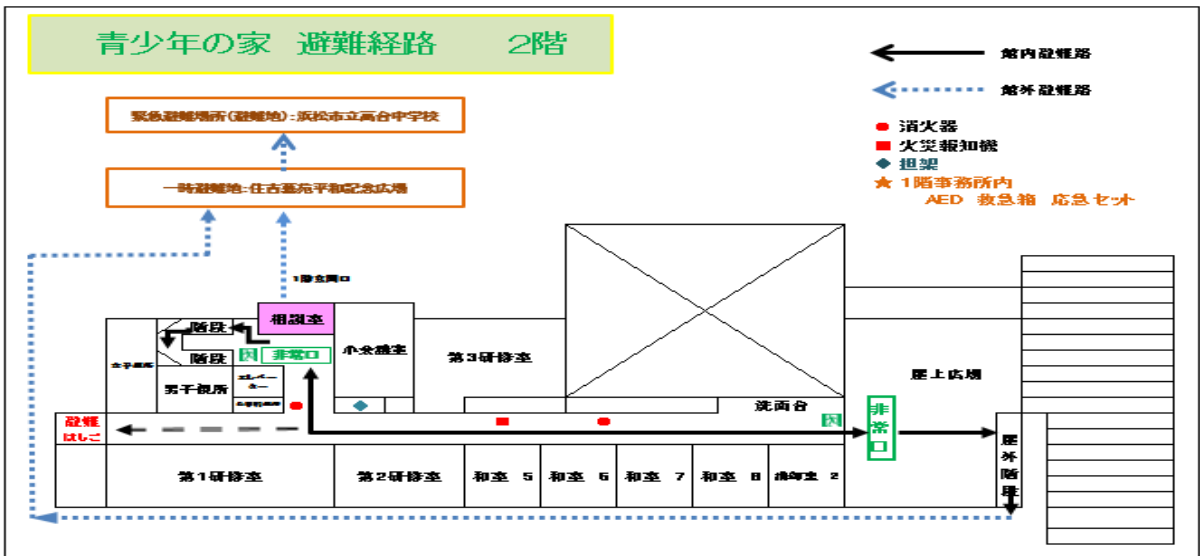
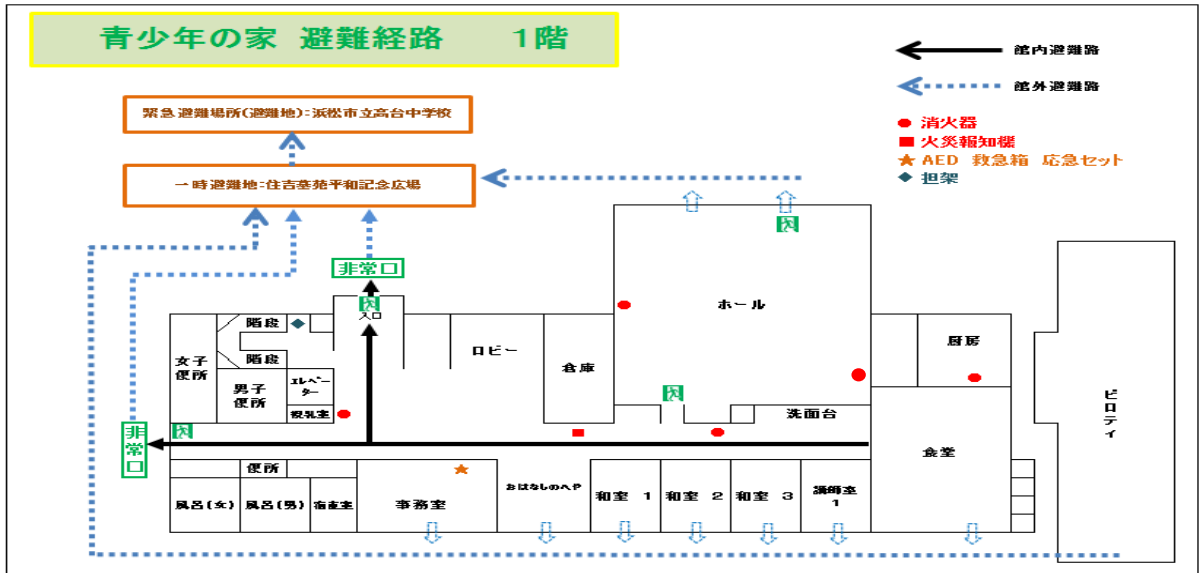
火気等を使用する者は、次の事項を遵守しなければならない。

- ① 火気設備器具等は、厨房・かまど・許可した場所以外では使用しないこと。
- ② 火気設備器具等は、使用前後に必ず点検を行い、安全を確認すること。
- ③ 火気設備器具等の周囲は、常に整理整頓すること。

(4) 地震の心得について

※P18をご参照ください

別表 避難誘導経路



『地震の心得』

この心得は一般的な事項であり、利用団体において利用者の状況等に応じた防災対策を講じること。

① まずわが身の安全を守る

地震が発生したら、まず丈夫なテーブルや机などの下に身を隠して、しばらく様子を見る。

② 素早く火の始末

大地震で最も恐ろしいのは火災に繋がることである。冷静に火を止め、ガスの元栓等を締める。

③ 火が出たらまず消火

万が一出火した場合は、初期のうちに火を消すことが大切である。
周囲に声を掛け合い、皆で協力して初期消火に当たる。

④ あわてて外へ飛び出さない

屋外では屋根の部品やガラスの飛散、樹木の倒壊などに注意を払う。
揺れがおさまったら、外の様子を見て落ち着いて行動する。
外へ出る場合は、座布団等で頭部を保護をする。

⑤ 危険な場所には近寄らない

塀際、樹木、電柱、崖など、危険な場所に居る時は急いで離れる。

⑥ 崖崩れや地滑りに注意

崖の近くや斜面等にいる場合は危険に留意し、すばやく安全な場所に避難する。

⑦ 正しい情報で行動

テレビやラジオ、防災機関からの情報で行動し、デマに惑わされないように注意する。

⑧ 人の集まる場所では冷静な行動を

慌てて出口や階段に殺到せず、冷静な行動をとる。

⑨ 避難は徒歩で、持ち物は最小限に

避難は自動車、自転車を使わず徒歩で行う。
身軽に行動できるよう荷物は最小限にとどめ、背負うなどして両手をあける。

⑩ 自動車は左に寄せて停車

カーラジオの情報に注意し、勝手な走行はしない。
走行できない場合は左に寄せて停止しエンジンを止める。
車を離れる際は、車のキーを付けたままでドアロックもしない。
車検証等の貴重品を忘れずに持ち出して徒歩で避難する。

8 施設の概要

(1) 施設詳細

※ マイク、ラジカセ等の音響設備がご利用が可能な場所はホールのみです。

階	室名	室数	研修定員	宿泊定員	備考
1	ホール	1	(椅子のみ) 150人 (テーブル設置時) 99人		<ul style="list-style-type: none"> ・3人掛け机33、椅子150 ・組立式舞台6（舞台階段2含む） ・音響機器（CD、MD、カセットデッキ） ・マイク（卓上スタンド、床スタンド2） ・黒板 ・プロジェクタースクリーン ・ピアノ
	和室	3	少数	6人/室	<ul style="list-style-type: none"> ・和室（10畳）宿泊可 ・座卓、座布団利用可
	講師室	1		4人	<ul style="list-style-type: none"> ・2段ベッド2台 ・ロッカー ・丸テーブル1、椅子4
	食堂	1	70人		<ul style="list-style-type: none"> ・6人掛テーブル11、4人掛テーブル1 ・ホワイトボード
	厨房	1			<ul style="list-style-type: none"> ・冷蔵庫、冷凍庫 ・ガス炊飯5升釜2 ・ガスオーブン2 ・ガスコンロ5
	おはなしの部屋	1			<ul style="list-style-type: none"> ・絵本、玩具（持出不可）
	浴室	2			<ul style="list-style-type: none"> ・カラン各4
	授乳室	1			<ul style="list-style-type: none"> ・おむつ交換台ベビーシート
	多目的トイレ	1			<ul style="list-style-type: none"> ・子ども用便座有
	洗面台	6			
印刷室	1			<ul style="list-style-type: none"> ・印刷機1（利用可・印刷有料） 	
2	第1研修室	1	54人		<ul style="list-style-type: none"> ・3人掛け机18、椅子54 ・ホワイトボード ・ビデオ用TV
	第2研修室	1	30人		<ul style="list-style-type: none"> ・3人掛け机10、椅子30 ・ホワイトボード ・ビデオ用TV
	第3研修室	1	30人	20人	<ul style="list-style-type: none"> ・和室（28畳）宿泊可 ・座卓、座布団利用可 ・前後ホワイトボード
	小会議室	1	16人		<ul style="list-style-type: none"> ・3人掛け机4、2人掛け机2、椅子16 ・ホワイトボード
	相談室	1	4人		<ul style="list-style-type: none"> ・机1、椅子4 ・黒板1
	和室	4	少数	6人/室	<ul style="list-style-type: none"> ・和室（10畳）宿泊可 ・座卓、座布団利用可
	講師室	1		4人	<ul style="list-style-type: none"> ・2段ベッド2台 ・ロッカー ・丸テーブル1、椅子4
	多目的トイレ	1			
	洗面台	6			
屋外	かまど	10	100人		<ul style="list-style-type: none"> ・1かまど10人程度
	石窯	1			<ul style="list-style-type: none"> ・別途かまどの利用が必要
	ピロティー	1	100人		<ul style="list-style-type: none"> ・テーブル10、椅子80 ・水道場4（蛇口各2～3）
	テントサイト	7		60人	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよしの森テントサイト3 ・希望の森テントサイト4

※ 各研修室・小会議室・和室へのプロジェクターの貸出可（移動式スクリーン含む）

※ ホワイトボードマーカー・黒板チョークは事務室で貸出を行っております。

※ 第1研修室、第2研修室、第3研修室、小会議室（相談室）はフリーWi-Fi接続可

(2) 施設配置図

◎ 屋内施設

浜松市立青少年の家は、延床面積1,350平方メートルの、鉄骨2階建て施設です。

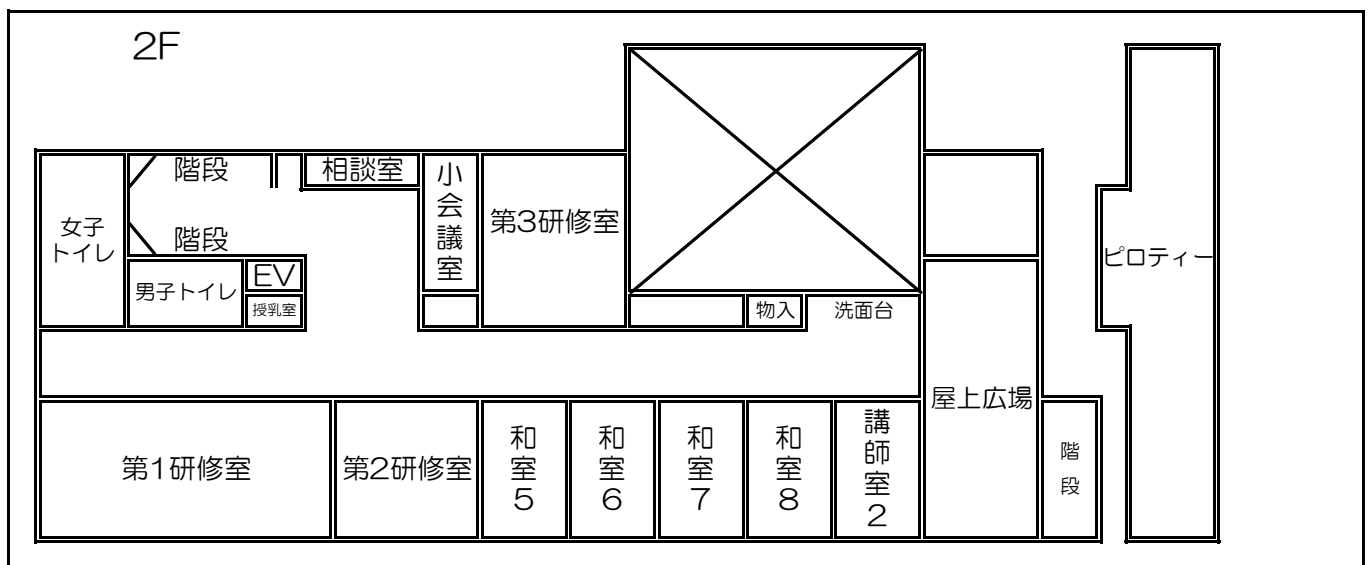
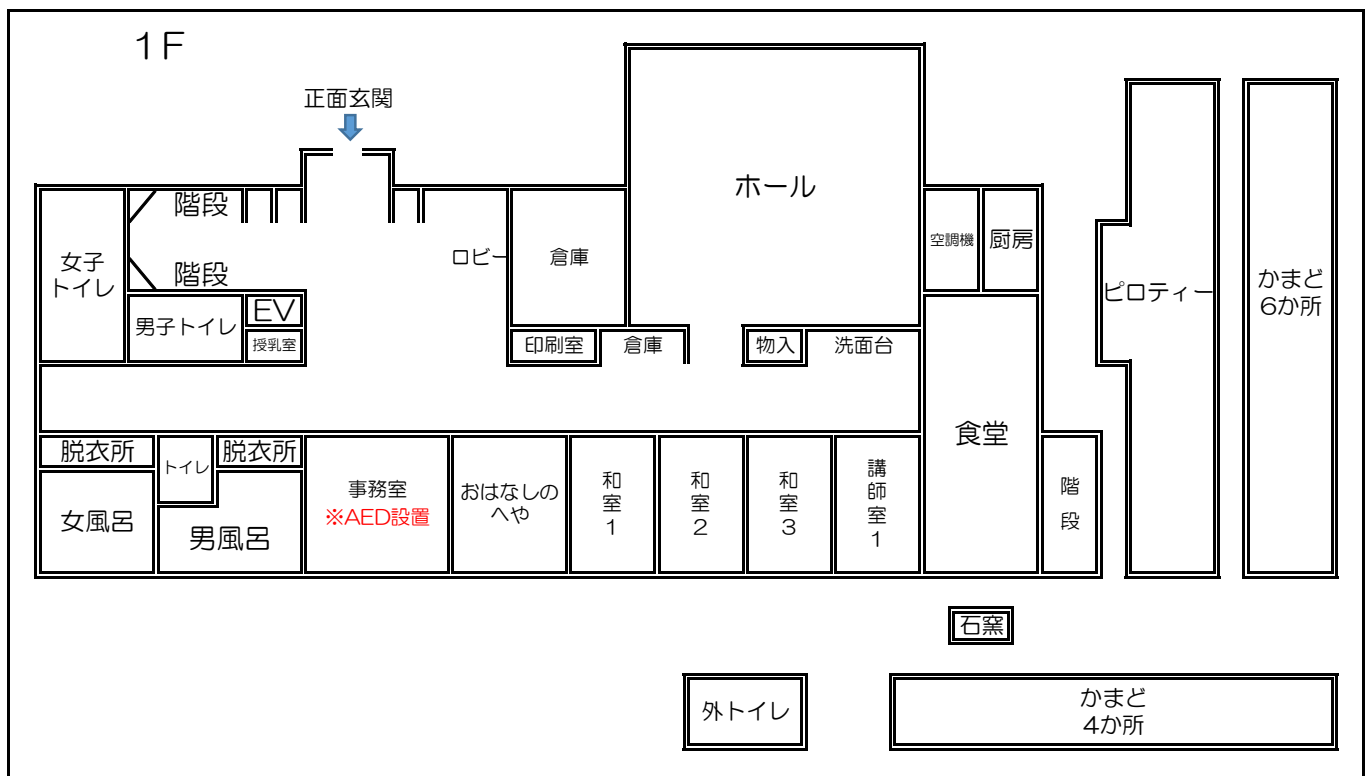
(本館1,223平方メートル、ピロティ127平方メートル)

最大70名の宿泊利用が可能です。

○ 主な施設

- ・ ホール
- ・ 第1研修室、第2研修室、第3研修室（和室）
- ・ 小会議室
- ・ 食堂、厨房
- ・ 和室×7室
- ・ 講師室×2室
- ・ 浴室（2ヶ所）
- ・ 事務室 など

○ 施設平面図

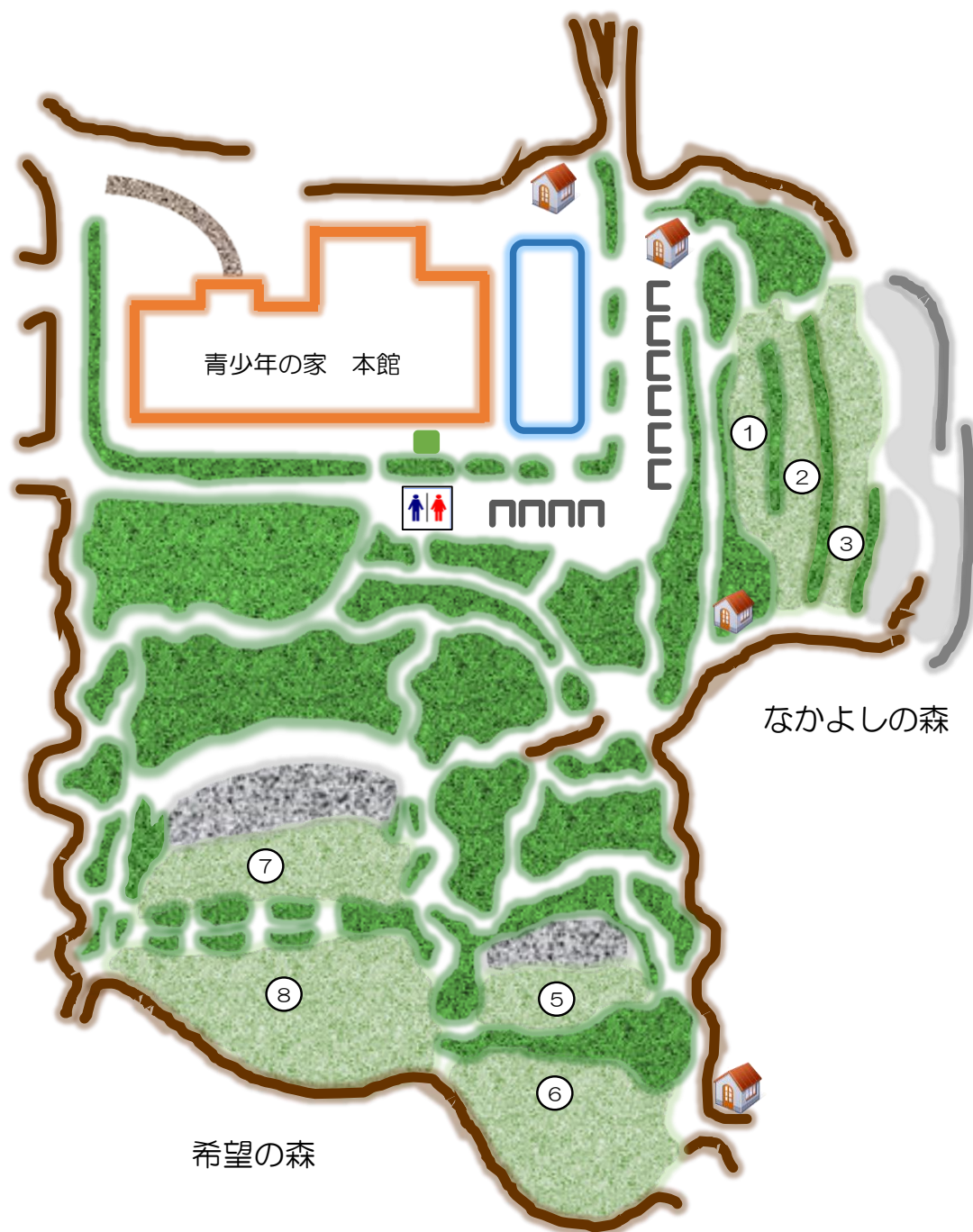


◎ 野外活動広場

青少年の家の森の広さは6,188平方メートル
敷地内には赤松林や照葉樹林の高木が自生しています。

○ 主な施設

- ・ テントサイト7ヶ所
- ・ テント14張 ※テントサイト1箇所につき、テント2張り設置可能
- ・ 野外炊飯施設 かまど10炉
石窯1炉
- ・ 野外活動広場
希望の森
なかよしの森

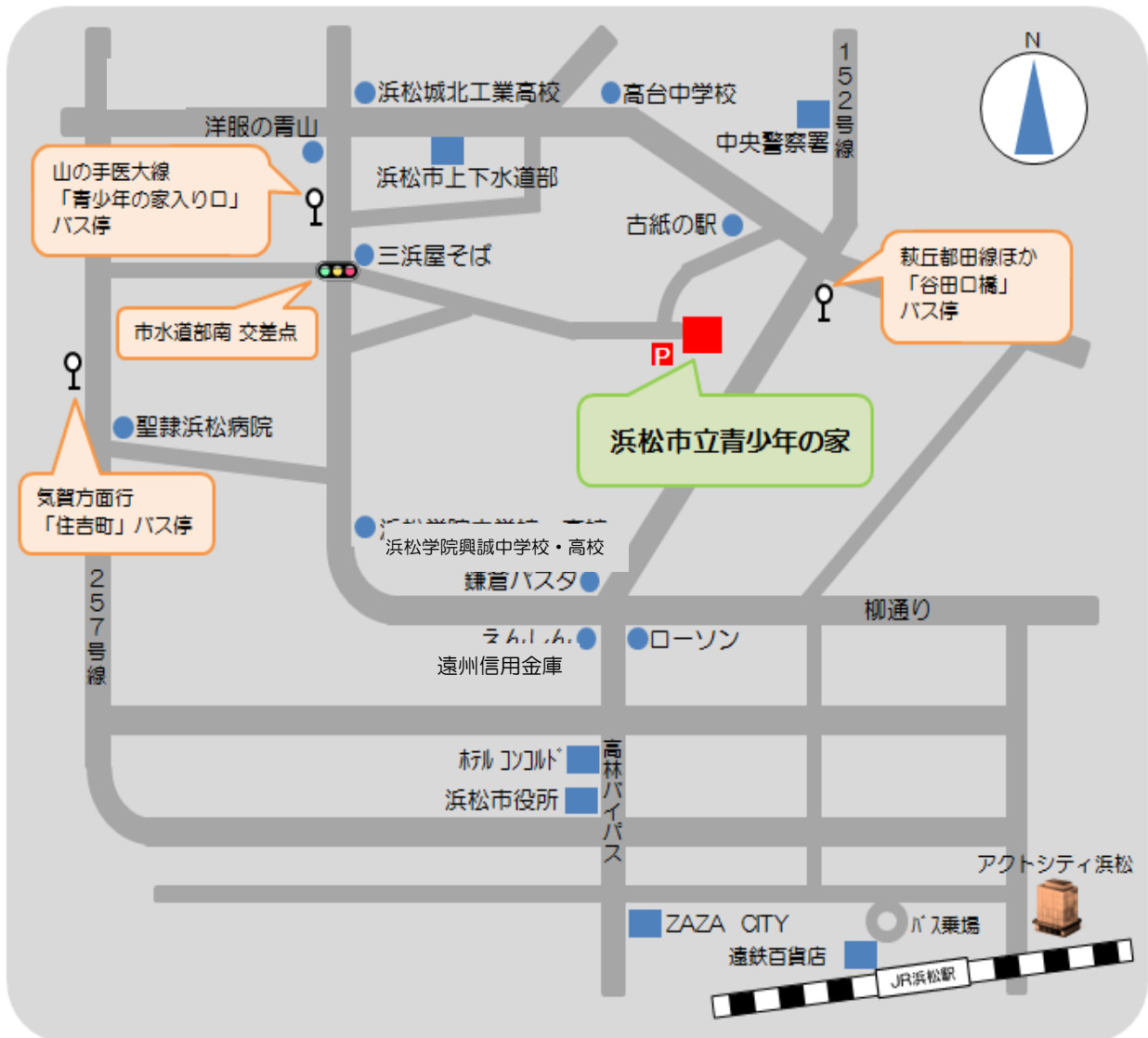


(3) 交通アクセス

青少年の家へは、車、バイク、自転車のほか、バスでお越しいただけます。
お車でお越しになる場合は、駐車できる台数に限りがあります。
乗り合わせ、公共交通機関のご利用をお願いしています。

- ※ 貸切バス、またはマイクロバスでお越しになる場合は、お問い合わせください。
- ※ バイク、自転車は専用の駐輪場をご利用ください。

◎ アクセスマップ

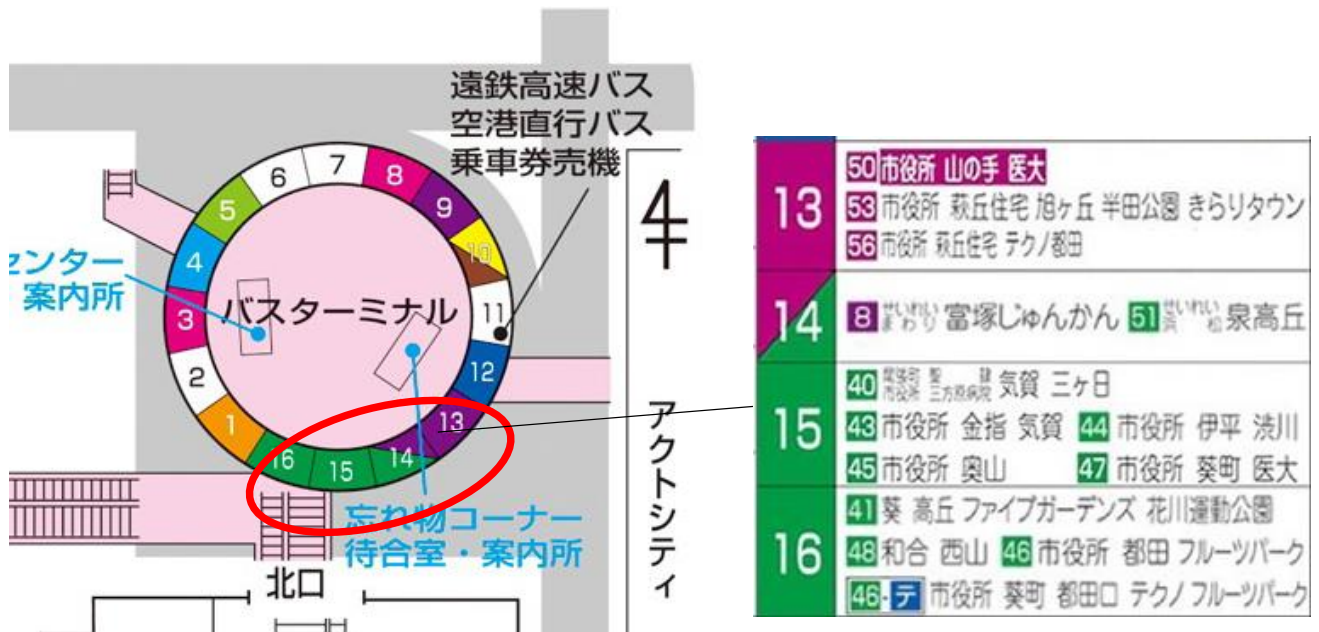


◎ 公共交通機関（バス）の場合

- 浜松駅から遠鉄バス乗車 ※ アクセスマップ参照

- ・ 13番乗り場：山の手医大線 青少年の家入り口下車 徒歩約7分
- ・ 13番乗り場：菟丘都田線 谷田口橋下車 徒歩約10分
- ・ 15、16番乗り場：気賀方面行 住吉町下車 徒歩約15分

浜松駅北口バスターミナル乗り場案内



◎ 乗用車の場合

- 浜松駅方面から

- ・ 市道中ノ町三方原線（住吉バイパス）→「市水道部南」交差点右折
- ・ 国道257号線（姫街道）→JAとびあ浜松住吉支店の北100m交差点を右折
- ・ 国道152号線（高林バイパス）→「中央署南」交差点を左折後、20m先Y字路を左に進む

※ 駐車場40台

（駐車台数に限りがありますので、乗り合わせ、公共交通機関をご利用ください。）



利用ガイドブック

令和8年4月

発行 浜松市立青少年の家
(指定管理者 遠鉄アシスト株式会社)

〒430-0906

静岡県浜松市中央区住吉四丁目23番1号

Tel (053) 471-4725 Fax (053) 471-4723

URL <https://h-seisyounen-ie.entetsuassist-dms.com>

E-mail s_info@kodomo-seisyounen.com



浜 松 市 立

青 少 年 の 家

Hamamatsu Municipal Youth house